

あした TOMORROW

大阪市里親会*会報誌

家族の意味、親子の意味を一緒に考えたい。

No. 2

2014 [H26]
July
7月

第57回大阪市里親会定例総会

ひらかたパーク会場に
里親子ら101人が参加



平成26年5月31日、『ひらかたパーク』を会場に第57回大阪市里親会定例総会を開催しました。開会の辞につづき会長、来賓があいさつ。その後、前年度事業決算報告、本年度事業予算計画を発表、承認されました。閉会後は園内施設で楽しい時間を過ごしました。参加者は101人(来賓等8人・里親等45人・社会人里子1人・高校生2人・中学生9人・小学生24人・幼児12人)。



里親会会長のあいさつ

大阪市里親会会長 梅原 啓次

本日、「社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団」、「里親を支援する会大阪」、「こども相談センター」の皆さま



のご臨席を賜り、また、大勢の会員の皆さまのご出席のもと、平成26年度大阪市里親会総会を開催させていただきましたことは誠にありがたく存じます。

会員の皆さまには、日頃は、養育の上にご尽力頂き誠に苦勞様でございます。また、会運営にはご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度、大阪市里親会といたしまして、現在の社会状況における家庭的養護の担い手であります我々が預かる子どもたちの現状を考えると、ますます養育スキルの向上が急務であります。そこで、大阪市よりの委託事業であります里親研修会(講義型研修・参加型研修)を年十数回開催します。里親対象の大阪市の研修ですので、是非ともご参加をお願いいたします。

また、里親軒数がまだまだ少ない現実に里親会として、里親制度の啓蒙、里親啓発の取り組みを進め、「大阪市里親会シンポジウム」の開催、各機関に働きかけ里親研修の開催をお願いしてまいりたいと考えています。

何卒、ご理解の上、ご協力のほどを今年度もよろしくお願い申し上げます。

大阪市の子どもたちの幸せを願って

平素は大阪市の児童福祉行政、とりわけ里親制度の推進にご尽力賜っておりますことをこの紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

大阪市里親会におかれましては、春の総会に始まり、夏の一泊研修&レクリエーション、秋のみかん狩り、様々な研修や里親サロンの開催等を通じて、社会的養護を必要とする児童のための福祉向上と里親支援に日々努めていただいております。これもひとえに梅原会長をはじめ、理事や会員の皆さま方のご努力の賜物であると深く敬意を表する次第であります。

里親をめぐる大阪市の現状についてお伝えしますと、大阪市は昭和31年に児童相談所を設置した当初から、里親の専任職員を配置し、里親制度に力を入れてまいりました。平成26年度の里親担当は、児童福祉司5名、訪問相談員1名、里親委託推進員1名の7名体制で業務にあたっております。他都市に比べ人数は多いほうですが、里親へのニーズが増大する中、まだまだ行き届かない点もあるかと思しますのでご理解のほど、よろしく願いいたします。



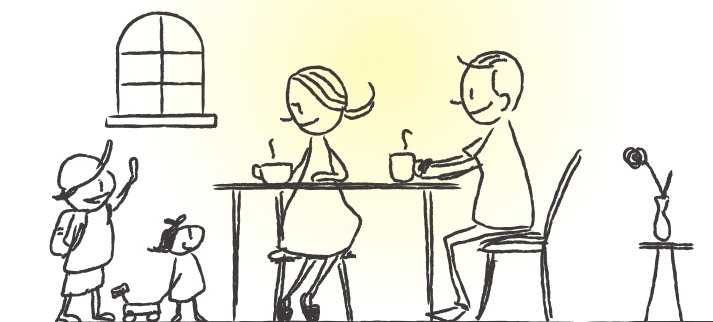
次に統計的なことを言いますと、平成26年3月末の里親登録数は、103家庭、ファミリーホーム（以下・FH）は8か所となっております。里親委託児童数は90人、FH委託児童数は46人で、平成25年度の里親委託率は11.02%になりました。同24年度に委託率が初めて10%を超え10.52%だったのですが、それを上回る数字になりました。しかしながら平成26年度の本市の目標である13.8%や国の目標である16%にはまだ遠いものがあります。

虐待相談件数が今もなお右肩上がりが増えていく中、要保護児童の中に被虐待児童や、様々な問

題を抱える児童、最近では施設不適應などの高年齢児童も増えていることから、社会的養護の担い手である里親の皆さまには日々多大なご苦勞をおかけしております。

このような多様な子どもたちに対応していただけるような里親家庭を広く開拓し、サポート体制の充実を図ることが喫緊の課題だと考えており、今後も引き続き皆さまと連携して子どもたちの幸せのために施策を推進してまいりたいと思っておりますので、よろしく願います。

最後に、大阪市里親会の今後ますますのご発展と、皆さまのご健勝とご多幸、大阪市の子どもたちの幸せを祈念いたしました結びとさせていただきます。



大阪市里親会シンポジウム

「親と暮らせない子どもたちの今」

をテーマに開催

平成26年2月25日開催

2月25日、大阪市立中央会館（大阪市中央区）において、「大阪市里親会シンポジウム」を開催しました。

この行事は里親の活動をより多くの人々に知ってもらい、里親を志す人の増加を目指して、大阪市児童福祉施設連盟（里親支援専門相談員）との協働で計画が進められてきました。また、4千部のチラシを作成し、各区役所や図書館、中央区PTA協議会、中央区民生児童委員、里親支援専門相談員、里親に配布して参加を呼びかけました。

当日午後1時半、梅原啓次・大阪市里親会会長のあいさつの後、長年、子どもと向き合ってきた、大阪市こども相談センター副所長・市村好弘氏に「実親と一緒に生活できない子どもたちの現状」と題しての基調講演を頂きました。児童虐待について、その傾向と種類、またその後の児童の措置などをスライドを用いて詳しく説明していただきました。つづいて、淀川区でファミリーホームをしている塩月澄子さんが里親体験談を、元里子で現在は里親になられた大正区の松井直子さんが里子時代を振り返ってお話くださいました。



休憩後、パネルディスカッションと質疑応答が行われました。パネラーは里親会会長を含む前述の4名と児童養護施設「博愛社」（淀川区）職員で里親支援専門相談員の浅井靖久氏。司会は大阪市里親会から樋口道則研修担当理事が務めました。宮川長生・大阪市里親会名誉会長が閉会の辞を述べ、シンポジウムは終了しました。

その後、お楽しみ行事として、デジタルカメラ（1本）、カタログギフト（10本）、宝くじ（10本）が当たる大抽選会が行われました。

なお、当日の参加者は、一般28人、里親31人、里親支援専門相談員5人、その他14人、計78人でした（参加名簿記載者）。

回収されたアンケート（38人分）によると、ほぼ全員が「里親子についてよくわかった」と回答し、とくに「里親になりたい」と回答した方も5人おられました。感想の中には、元里子の話に感動した方が多くみられました。

次回のシンポジウムは、淀川区で11月29日に開催を予定しています。

今後の行事予定

里親シンポジウム

日時／平成 26 年 11 月 29 日(土) 13 時 30 分～ 16 時
場所／淀川区民センター (大阪市淀川区野中南 2-1-5)
内容／里親制度の説明、パネルディスカッション、劇「おかえり」上演

夏季研修会と里親子のレクリエーション

日時／ 8 月 24 日(日) ～ 25 日(月) 場所／和歌山県加太の国民休暇村
内容／里親は、島田妙子氏による研修会。子どもはプールとヨガ教室、会食、キャンプファイア、花火など 里親・里子の交流を図るレクリエーション
対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)

秋季行事・みかん狩り

日時／ 11 月 9 日(日) 10 時 30 分～ 場所／上の太子観光みかん園
内容／バーベキューとみかん食べ放題 対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)

参加型研修 コモンセンス・ペアレンティング【3回連続講座】

- 1 回目の内容／S1. どのように育ちを学ぶのか「発達・適切な期待値・育み」
S2. 私の最初の先生「見て話す・結果」
2 回目の内容／S3. よいところを見つけて「効果的な褒め方」
S4. どうすれば良いかを教えて「予防的教育法」
3 回目の内容／S5. 正しくするのをてつだって「問題行動を正す教育法」
S6. 落ち着くのをてつだって「自分をコントロールする教育法」

平日開催／

- 1 回目・平成 26 年 10 月 1 日(水)
- 2 回目・平成 26 年 11 月 4 日(火)
- 3 回目・平成 26 年 12 月 2 日(火)

日曜開催／

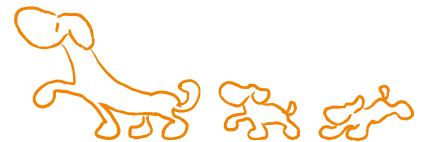
- 1 回目・平成 27 年 1 月 11 日(日)
- 2 回目・平成 27 年 2 月 8 日(日)
- 3 回目・平成 27 年 3 月 1 日(日)

時間／各日程 10 時～ 12 時 30 分

講師／梅原啓次 (大阪市専門里親・大阪市里親会会長)

対象／大阪市登録里親、里親に興味がある方

場所／大阪市子ども相談センター



平成 26 年度の主な行事報告



街頭広報活動 (里親制度のチラシ配り)

日時／ 4 月 20 日(日) 午前 10 時～ 12 時 場所／なんば高島屋前歩道
内容／里親制度のチラシとティシュペーパーを配布
対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)
参加／ 10 名 (うち子ども 2 名)



第 57 回定期総会と里親子のレクリエーション

日時／ 5 月 31 日(土) 午前 10 時～ 場所／ひらかたパーク
内容／総会 (事業・会計報告、年間計画発表) 懇親、自由遊覧
対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)
参加／ 101 名 (来賓等 8 名・里親等 45 名・会人里子 1 名・高校生 2 名・中学生 9 名・小学生 24 名・幼児 12 名)

今後とも皆さまの情報交換の場として、ご意見、ご投稿をお待ちしております。

発行／大阪市里親会 発行人／梅原啓次 編集担当／藤本昌弘 事務局／大阪市中央区森ノ宮中央 1-17-5 子ども相談センター内
☎ 06-4301-3100・Fax 06-6944-2060・ホームページ <http://osaka-city-satooya.jp>